



震災復興支援  
活動情報

Vol.6

サポセン  
かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方に向けた、救援物資の提供、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、5月21日～5月31日に受けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター 電話: 022-212-3010

6月20日(月)



仙台市地域活動栄養士会 子どもの食事研究グループ

いざという時を食からサポート

5月5日に復興支援イベント「泉こどもの日フェスティバルin SELVA」に参加し、栄養相談コーナーを担当しました。震災時の栄養についてのパンフレットを配布し、災害時に活用した食品の展示、子どもを対象とした料理カードでのメニュー作りを体験してもらいました。関心が高かったのは、魚の缶詰を使ったスープやホイル焼きなどの簡単調理法でした。わずかの手間と発想の豊かさで栄養バランスが取れることの楽しさを伝えたいと思います。

また、子育てが忙しいお父さんお母さんのために、日常の食生活の中での災害時の備えなど、非常時に役立つ冊子「非常食・災害BOOK」を作成中です。今後も食生活に関する、ご相談や講習会、資料の作成などのご要望があれば、できるかぎり対応させていただきます。

●内容/管理栄養士、栄養士による任意の団体で、多くはフリーで活動をしています。食に関する情報を提供し、市民の健康をサポートしています。キャラクター「バーラ」ちゃんを使い、楽しく料理教室、講演会、相談、食育劇などを実施しています。管理栄養士や栄養士の資格をお持ちで興味がおありの方、ぜひご連絡下さい。

オリジナル  
キャラクター  
「バーラちゃん」



●連絡先

代表者 佐藤 京子 TEL:022(277)4757  
担当者 首藤 果苗 TEL:080(1821)6041  
E-mail:syutok31@agate.plala.or.jp



NPO法人ガンの患者学研究所

ガン患者の心の悩みや  
生活改善などを相談支援しています

●内容/「ガンになる以前よりも、心身ともに健康で幸せ」の人生を実現できるように、日頃の生活習慣の改善について、実践している団体です。東日本大震災に伴う宮城県内のガン患者を対象に、心の悩みや生活改善について、また、自分でできる簡単な手当法や食事の改善法について、適切なアドバイスを行っています。

●連絡先

代表者 川竹 文夫  
TEL:022(212)5822 FAX:022(212)5833  
E-mail:takayama@ecoroji.co.jp  
ウェブサイト:http://www.naotta.net



NPO法人東日本カウンセリングセンター

みんなの笑顔が明日へのちから

●内容/当センターでは、笑顔塾を始めて5年になります。ひとりで抱え込まない、寄り添い合い、人の輪のつながりを実感し、長い期間復興を支援するセンターです。このたび、被災者の方を対象に、笑顔塾を開催します。

◎内 容:被災者の輪～共に寄り添い～共に語ろう

◎日 時:6月26日 10時～12時

◎参加費:無料

●連絡先

代表者 藤坂 雄一  
TEL:022(211)9228 FAX:022(211)9270  
090(8432)7866(担当 五十嵐)  
E-mail:ccmind@npo-ejcc.org



被災された方をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)

## 被災された方の小さな声をお聞きます

つなプロは、特別な配慮を必要とする方々のお困りごとに気づき、耳を傾け、専門性を持つ市民団体(NPO)や関係機関などの支援につなげることを目的に活動しています。3月28日から5月1日まで、宮城県内のほぼ全ての避難所を巡回訪問し、アセスメントを通じて拾い上げたニーズを専門団体等へつないできました。6月からは、被災された方の中で、妊産婦、乳幼児、子ども、高齢者、外国人、障害者、アレルギーや難病をお持ちの方などの困りごとをサポートする電話相談を開始します。どんな小さな声でも結構です。私たちにお届けください。専門の相談員がお応えいたします。

●内容/妊産婦、乳幼児、子ども、高齢者、外国人、障害者、アレルギーや難病をお持ちの方など特別な配慮を必要とされる方々のための専用ダイヤル  
午前9時～午後5時(月曜～金曜)  
電話 050(3155)3868

## ●連絡先

みやぎ連携復興センター  
(せんだい・みやぎNPOセンター内)  
代表者 紅邑(べにむら)晶子  
TEL:022(264)1281(担当:小川・伊藤)  
ウェブサイト:<http://blog.canpan.info/tsunapro/>



@ plus (アプラス)

ボランティア

## 大学生のボランティア参加

●内容/仙台市内を中心とした各大学で、広く大学生にボランティアの推進を図ります。「We make Ishinomaki」のミサンガ作りプロジェクト(Just Giving Japan)に賛同したミサンガ募金など、様々な学生が身近に参加できる支援活動の企画、実行やボランティアの予備知識等の発信、リンク集などによるボランティア紹介を行っています。

## ●連絡先

代表者 井澤 仁志 TEL:090(3360)7176  
連絡可能な時間帯 平日17:00以降または休日  
E-mail:[aplus.volunteer@yahoo.co.jp](mailto:aplus.volunteer@yahoo.co.jp)  
[euphonious\\_education.29@docomo.ne.jp](mailto:euphonious_education.29@docomo.ne.jp)  
ウェブサイト:<http://x51.peps.jp/apupuff/>



支援

NPO法人 生活習慣改善センター

## 人と地域を元気に被災者の身体的・精神的ケア、健康的な生活支援

●内容/避難所や仮設住宅にて生活している方や在宅避難している方の支援をするため、「東日本大震災被災者FAX相談室」を開設。物資・食糧支援、スイーツの提供、専門医の紹介、生活習慣改善に関する相談、マッサージ・理美容ボランティアの派遣、トータルケア、グリーンケア市民講座の派遣などのニーズに対応しています。

## ●連絡先

代表者 富澤 伊勢雄  
TEL:080(3149)8452 FAX:022(268)4042  
E-mail:[bosco.iseo@ezweb.ne.jp](mailto:bosco.iseo@ezweb.ne.jp)



支援

team VAMOS (チームバモス)

## 斬新なアイデアで復興支援を

●内容/自宅の風呂を提供してくれる家庭を募り、避難所に避難している人に入浴をしてもらう活動や避難所に併設する仮設・常設の浴室の設置活動、東北復興イベント開催などを行ってきました。今後は、「東北応援食堂の開催」「リサイクル家電を全国から宮城へ」「ボランティアの情報集積所の設置」などの支援を目指しています。

## ●連絡先

代表者 若林 隆之  
TEL:070(5545)6717  
連絡可能な時間帯 8:00～23:00  
E-mail:[sggk\\_genzo@yahoo.co.jp](mailto:sggk_genzo@yahoo.co.jp)  
ウェブサイト:<http://mojatomilovetohoku.jimdo.com/>



支援

被災・復興支援と情報技術 勉強会

## 被災・復興支援と情報技術支援

●内容/情報処理学会自然言語処理研究会と、東北大学情報科学研究科乾研究室と合同で勉強会を行います。今回の震災を受け、招待講演やディスカッションを通じ、ソーシャルメディアや機械翻訳による被災・復興支援の可能性などについて、情報共有・意見交換を図ります。

## ●連絡先

代表者 乾 健太郎  
TEL:022(795)7091 FAX:022(795)4285  
E-mail:[inui@ecai.tohoku.ac.jp](mailto:inui@ecai.tohoku.ac.jp)



一般社団法人 さくら福祉会

## 転校する子どもたちの味方になりたい

震災後転校する子どもたちは17,000人とも言われています。子どもたちにとって「転校」は大きな出来事です。新しい環境をきっかけとして、心の病を発症することもあるかもしれません。よぎなくされた転校によって起こりうる孤立、こころないじめなどの精神的苦痛を和らげるために、私たちがどんなときでも近くにいる味方となり、子どもたちの力になりたいと考えています。そのために「復興トモダチ放送局」を開局し、ネット放送、動画、ブログなどにより子どもたちへのエールを発信しています。私たちとともに子どもたちを応援して下さる方募集中、一緒に転校生をサポートしていきませんか！

●内容／転校生支援、障害者支援などの活動をしている団体が母体となっています。震災直後は、企業等、社会人ボランティア、東京の友人らの協力で食料を確保し、緊急トラック、車を調達し仙台市内の施設へ配布しました。震災をきっかけに転校することになり、不安をかかえている子どもたちを応援するために、このたび「さくら福祉会」として活動を開始しました。

### ●連絡先

代表者 高橋 俊晴

TEL:090(1399)0505

E-mail:t.takahashi@sakurawell.com

「復興トモダチ放送局」<http://ameblo.jp/sakuratomodachi/>

きほっこキャンプ実行委員会/(財)宮城県肢体不自由児協会

## 手足に障がいのある子どもと 障がいのない子どものキャンプ

●内容／夏期と冬期に、障がいのある子どもたち(小学5年～高校3年)と障がいのない子どもたちが豊かな自然の中で、ボランティアリーダーの支援のもと川遊びや野外炊飯等のプログラムを子どもたち自身で話し合い実行していく「きほっこキャンプ」を実施。震災後は、障害児・者の家庭へのボランティア派遣などを行いました。

### ●連絡先 代表者 実行委員長 秋山 一郎

TEL:022(293)2902 FAX:022(293)2905

連絡可能な時間帯 8:30～17:30

E-mail:msh@bc.wakwak.com

ウェブサイト:<http://park10.wakwak.com/~msh>

NPO法人日本スクールコーチ協会東北支部

## 青少年が夢を描き、 夢の実現に向けて歩み出すお手伝い

●内容／自己を表現できる、社会に必要なコミュニケーションについて、子ども達やその関係者と一緒に考え、より良い信頼関係を築いていく体験講座などを開催しています。自分自身、家族に対しての接し方やこの震災の経験乗り越えるために、被災した家族や身近な方を対象としたワークショップやセミナーを実施していきます。

### ●連絡先

代表者 支部長 川村 幸恵

TEL:090(6645)2823

ウェブサイト:<http://www.jscoach.com>

北海道ブックシェアリング

## 公共施設への 図書支援を行っていきます

●内容／北海道教育委員会、札幌市教育委員会と連携しながら、家庭や企業の不要図書の活用を進め、図書不足あるいは図書購入費の不足に悩む施設に本を無償で提供しています。その運用実績を活用し、被災地の公共施設の図書の整備を長期にわたって支援していきます。

### ●連絡先

代表者 荒井 宏明

TEL:090(3468)6888

E-mail:hk\_bookshare@yahoo.co.jp

ウェブサイト:<http://bookshare.web.fc2.com>

財団法人 出版文化産業振興財団(JPIC)

## 被災地の子どもたちへ 本を通じて支援していきます

●内容／◎子どもたちへくあしたの本>プロジェクト:子どもたちに本を通じて、安らぎや楽しみを提供するための様々な活動 ◎チャリティーオークション原画展:子どもの本の作り手からの直筆画をオークションで販売し、読書支援活動に ◎現地ボランティア協力の活動:移動図書館車での訪問、お話し会開催、読書環境の整備など。

### ●連絡先

代表者 理事長 肥田 美代子

TEL:03(5211)7282 FAX:03(5211)7285

連絡可能な時間帯 平日9:00～17:00(担当:尾崎、奥)

E-mail:info@jpic.or.jp

ウェブサイト:<http://www.jpic.or.jp/>



東日本大震災復興支援市民活動ネットワーク宮城

みんなのこころと力をひとつに、あきらめないで!最後まで復興!

当団体は、「指定避難所」と「避難場所」の区別なく、被災者の声に向き合いながら活動し、食料支援やスポーツ遊びによる宮城子どもスマイルサポートプロジェクトなどを実施しています。

被災者の方からの「あたたかいものをお腹いっぱい食べたい」「お肉を食べたい」との声に応じて、東北の沿岸部の被災地(気仙沼・石巻・河北・北上など)へキッチントレーラーで向かい、焼き肉バーベキューなどを行っています。このプロジェクトには、家や仕事を失くした被災者への雇用創出、例えば店舗トレーラーでの勤務等という長期的ビジョンがあります。

●内容/現在、下記の6つの柱で活動をしています。

- (1)東北キッチントレーラー生きるカプロジェクト
- (2)宮城子どもスマイルサポートプロジェクト
- (3)民間・個人からの救援物資の収集・運搬
- (4)各プロジェクトの支援金の募集
- (5)ベースキャンプの設営・運営
- (6)子どもの心のケアプロジェクト

●連絡先

代表者 阿部 寛行  
 TEL:080(4353)7373(担当:間邊 利恵)  
 E-mail:manabe@network-miyagi.org  
 ウェブサイト:http://network-miyagi.org/



全国労働組合連絡協議会

労働・雇用相談ホットライン

●内容/

東日本大震災で被災された方々の働く場を取り戻し、全力で地域復興へ支援いたします。被災現地の「労働・雇用相談ホットライン」を開設しました。相談は無料です。被災された労働者の方、事業主の方も遠慮なくご相談ください。

●連絡先

宮城合同労組 TEL:022(261)4392  
 全国労働組合連絡協議会 フリーダイヤル:0120(501)581



厚生労働省・都道府県労働局・公共職業安定所

東日本大震災に伴う、雇用保険失業給付の特例措置

●内容/

災害により休業を余儀なくされた方、または一時的に離職を余儀なくされた方が、雇用保険の失業手当を受給できる特例措置があります。

- ◎災害時における雇用保険の特例措置
- ◎ハローワークへ来所できない方々の「失業認定日」の取り扱い
- ◎居住地管轄ハローワーク以外での失業給付の受給手続き

●連絡先

詳細な内容や、お困りのことがあれば、お近くのハローワークや労働局にご相談ください。  
 宮城労働局 TEL:022(299)8833(代表)

仙台市市民活動サポートセンターは、市民活動団体・NPO等の復興支援・まちづくり支援の一環として、9月30日(金)まで無料で貸室をご利用いただけます。

サポセンかわら版をご覧いただきありがとうございます。みなさまのご感想をお待ちしております。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター  
 〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
 TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042  
 ウェブサイト:<http://www.sapo-sen.jp>  
 E-mail:[sendai@sapo-sen.jp](mailto:sendai@sapo-sen.jp)

発行日: 2011年6月20日  
 編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター  
 編集人: 小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 眞壁さおり  
 取材: 市民ライターグループ「おかきプラス」  
 デザイン: 氏家朗

